答え 6月1日 今日は何の日クイズ

赤い字が答えです



麦茶の日にちなんで「麦茶と麦のクイズ」

【第1問】江戸時代、麦茶は何と呼ばれていたでしょう？

①麦湯（むぎゆ）　② 麦水（むぎみず）　③ 麦汁（むぎじる）

江戸時代には「麦湯」と呼ばれ、夏の夕方になると、麦湯を飲ませるお店が町に出ていたそうです。今でいう、夏だけのお茶屋さんですね。

【第2問】麦茶が茶色く、香ばしいのはなぜでしょう？

① お茶の葉を入れるから　②大麦を炒（い）るから　③ しょうゆを入れるから

麦茶は、大麦を炒ってから煮出したり、水に浸したりして作ります。炒ることで色がつき、あの香ばしい香りが出ます。お茶の葉は使っていません。

【第3問】「麦秋（ばくしゅう）」は、どの季節を表す言葉でしょう？

① 春　②夏　③ 秋

「秋」と書きますが、麦が実って取り入れをする初夏のころのことです。俳句でも夏の季語です。麦にとっての実りの秋、というわけですね。

【第4問】大麦を使って作られる飲みものは、次のうちどれでしょう？

① 日本酒　② ワイン　③ビール

ビールは、大麦を芽ばえさせた「麦芽（ばくが）」から作ります。日本酒はお米、ワインはぶどうが原料です。麦焼酎も大麦から作られます。

【第5問】「麦わら帽子」の麦わらは、麦のどこでしょう？

①実をとったあとのくき　② 葉っぱ　③ 根っこ

麦わらは、実をとったあとの、中が空っぽのくきを乾かしたものです。細く編んで帽子にします。ストローという言葉も、もとは「わら」という意味です。

【第6問】暑い日に水分をとるタイミングとして、よいといわれるのは？

① のどがかわいてから　② 夜にまとめて　③のどがかわく前から

年をとると、のどのかわきを感じにくくなるといわれます。のどがかわく前から、こまめに少しずつ飲むのがおすすめです。麦茶はカフェインがないので、いつでも飲めます。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます